

## 令和6年度 芸術科「音楽表現」シラバス

単位数	2単位	学科・学年・学級	情報処理科 3年 C組
教科書	MOUSAIⅡ (教育芸術社)	副教材等	自作プリント

### 1 学習の到達目標

<p>音楽の幅広い活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と幅広くかかわる脂質・能力を次の通り育成することを目指す。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ミュージカルやオペラを形成している要素を理解し、歌唱やダンス、演劇の技術を習得する。また、日本音楽の歴史を学び、箏の技術を習得する。</li> <li>・曲種に応じ、特徴を生かした創意工夫を市、表現力を培う。</li> <li>・ミュージカルや箏の授業を通じて、様々な人間の生き方を知り、自分の生き方に反映させる。</li> </ul>
--

### 2 学習の計画

月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
4	ミュージカル			
	【鑑賞】	サウンド・オブ・ミュージック	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ミュージカルの成り立ちを知る。</li> <li>・楽曲の背景を知り、関心を持つ。</li> </ul>	ノート記入 取り組む姿勢
	【歌唱】	ドレミ アンコール	<ul style="list-style-type: none"> <li>・発声を学ぶ。美しい声を出し、楽曲にふさわしい曲想を考える。</li> </ul>	取り組む姿勢
	【ダンス】	ウォーキング	<ul style="list-style-type: none"> <li>・姿勢・立ち方・歩き方・立ち居振る舞いについて考える。</li> </ul>	美しさの認識
5	【創作】	ストーリー決め	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の芸名を考える。自分がどのような表現ができるか、どんな内容にするかを考える。</li> </ul>	主体的に取り組む姿勢
	【鑑賞】	ア ホール ニューワールド	<ul style="list-style-type: none"> <li>・物語の中で、どんな場面でどのような音楽が使われるのか知る。</li> </ul>	感想文提出
	【歌唱】	朝の風景 レットイットゴー ドレミ アンコール	<ul style="list-style-type: none"> <li>・配役に分かれて歌う。</li> <li>・背景や主人公の状況を考え、曲想をつけ美しい声で歌う。</li> <li>・発声や音色に気を付け、表現する。</li> </ul>	歌の発表 歌のテスト
6	【楽典】	楽読の読み方	<ul style="list-style-type: none"> <li>・音楽理論を復習し、理解する。</li> </ul>	小テスト
	【ダンス】	ウォーキング	<ul style="list-style-type: none"> <li>・美しい姿勢、歩き方をマスターする。</li> <li>・ステップを理解し、美しく踊る。</li> </ul>	発表 発表
7	【創作】	ストーリー制作 台本制作	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文化祭に向けたストーリーを制作する。</li> <li>・ストーリーに沿った台本作りをする。</li> </ul>	取り組む姿勢 作品提出
	9	【創作】	台本制作	<ul style="list-style-type: none"> <li>・配役を決定し、配役によるセリフの手直しをする。</li> </ul>
10		作曲	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ストーリーに沿って、挿入する曲の作詞作曲をする。</li> </ul>	作品提出
		ダンス	<ul style="list-style-type: none"> <li>・振付を考える。</li> </ul>	主体的に取り組む姿勢
	【舞台稽古】		<ul style="list-style-type: none"> <li>・創作したミュージカルを自分なりに感じ取り表現する。</li> </ul>	
12	【文化祭発表】			

	日本音楽	日本音楽概論	・日本歴史の中で音楽がどのような位置づけにあり、親しまれてきたかを学ぶ。	小テスト
1	日本音楽 【箏】  【鑑賞】	さくらさくら変奏曲	・箏の歴史や楽器の構造を学び、箏を組み立てる。 ・様々な演奏法を学ぶ。  ・雅楽・能・平曲・箏曲・三味線曲を聴く。	取り組む姿勢 楽器の構造を理解して表現する  感想文提出

### 3 評価の観点

知識・技能	ミュージカルの歴史やミュージカルを形成している要素を理解し、歌唱やダンス、演劇の技術を身につける。
思考・判断・表現	ミュージカルを形成する曲種に応じ、その特徴を生かした創意工夫をし、表現している。
主体的に学習に取り組む態度	ミュージカルや箏の体験を積極的に行っている。

### 4 評価の方法

【知識・技能】【思考・判断・表現】【主体的に学習に取り組む態度】の3観点から総合的に評価する。
---

### 5 担当者からのメッセージ

人前で表現するということが、最初はとまどいや羞恥心を感じるかもしれませんが、自分をさらけ出し、表現することにより、満足感や達成感を少しでもかんじてもらい自己肯定感を得てほしいと思っています。
---